

今年度の取組状況について

(日本遺産関連事業を含む)

令和8年3月5日(木)

①日本遺産ガイダンスセンターを拠点に情報発信

令和6年度より、足袋蔵まちづくりミュージアム1、2階を日本遺産ガイダンスセンターとして機能拡充し、日本遺産御周印の押印をはじめとした日本遺産PRの拠点とするとともに、蔵めぐり等のイベント時の出発点等としている。

【委託先：NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク】

②市内で開催されるイベントでの日本遺産のPR

- (1) 「ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」でのパネル展示
- (2) 「忍城時代まつり」でのパネル展示

③各種日本遺産関連イベントへの参加

- (1) 日本遺産フェスティバル in 倉敷【倉敷市】
 - ・開催日 令和7年10月25日(土)～26日(日)
- (2) 「日本遺産の日」記念イベント・日本遺産マルシェ【千代田区有楽町】
 - ・開催日 令和8年2月14日(土)～15日(日)



日本遺産フェスティバルの様子



日本遺産マルシェの様子

④足袋組合による販路拡大事業

(1) インバウンド向けグッズEXPO【東京ビッグサイト】

行田足袋事業者の製品を展示し、小売店や観光事業者、海外バイヤーへのPR及び商談等を実施。

- ・開催日 令和7年7月2日(水)～7月4日(金)
- ・ブース来訪者 約200名
- ・商談件数 68件

(2) CoCo Japanでの情報発信

森トラストホテルズ&リゾート(株)が運営する工芸品等の魅力発信施設である「CoCo JAPAN」にて、行田足袋の展示及び行田足袋パンフレットの配架、行田足袋動画の放映を実施。

- ・開催日 令和7年10月1日(水)～11月28日(金)

(3) 台湾出展

台湾(高雄市)の漢神アリーナで開催された「日本物産展」に出店し、PR及び商談等を実施。

- ・開催日 令和8年2月10日(火)～2月24日(火)



インバウンド向けグッズEXPOの様子



CoCo Japanの様子

④足袋組合による販路拡大事業

(4) 行田足袋着用推進事業

市内飲食店を中心に行田足袋を着用する店舗を、「行田足袋着用店舗」として認証。

- ・ 認証店舗 5店舗（令和8年2月末現在）

(5) 行田足袋コレクション2025

現代の洋装に合わせて日常的に足袋を履く、「新たなライフスタイル」の推奨に向けて実施。

- ・ 出演者 11組14名

⑤電動キックボードツアーガイドの育成

日本遺産の構成文化財が多数ある忍城下町を巡る歴史探訪ガイドツアーのガイドを行う人材を育成することを目的に、日本遺産に関わる講座を実施。

- ・ 開催日 令和7年11月30日（日）、12月7日（日）
- ・ 参加者数 16名



行田足袋着用店舗のステッカー



行田足袋コレクションの様子

2. 普及啓発事業

令和7年度実績

①足袋蔵めぐりイベントの開催

(1) 「足袋蔵のまち」スタンプラリー

足袋蔵や古民家等をめぐるスタンプラリーを開催。和装体験や市民公益活動の発表、市内事業者の出店を通して足袋蔵の活用周知と内部を公開。

- ・開催日 ①令和7年7月5日（土）、②11月1日（土）
- ・参加者数 ①455名 ②205名

(2) 花手水タウン特別企画2025

花手水イベントに併せて忍城とイサミコーポレーションスクール工場、ヴェールカフェをキャンバスにしたプロジェクションマッピングを実施。日本遺産の構成文化財を人力車で巡るアクティビティやヴェールカフェ前で日本文化「足湯」体験も実施。

- ・実施日 令和7年10月11日（土）、11月1日（土）、
12月6日（土）
- ・参加者数 累計約31,900名



スタンプラリーの行田窯での様子



花手水タウン特別企画の様子

①足袋蔵めぐりイベントの開催

(3) 忍城下を「電動キックボード」で巡る歴史探訪ガイド

モニターツアー

忍城・足袋蔵などの日本遺産構成文化財や花手水で有名な行田八幡神社などの人気観光スポットを、地域ガイドによる説明を聞きながら、電動キックボードに乗って“移動そのものを楽しむ”新感覚体験型ツアーを実施。

- ・開催日 令和7年12月14日（日）

(4) 日本遺産クイズラリー

日本遺産に関するクイズを出題し、構成文化財をめぐるイベントを実施。

- ・開催日 令和7年8月9日（土）～11月3日（日）
- ・参加者数 約600名



モニターツアーの様子

②郷土博物館との連携

(1) 行田足袋検定

行田足袋に関する展示を見学しながら問題を解き、行田足袋への理解を深める。全問正解者には合格認定証を贈呈。

- ・開催日 通年開催（郷土博物館の開館中）
- ・参加者数 約3,500名（令和8年2月末現在）

(2) 足袋をはいて博物館へ

郷土博物館内ラウンジに、足袋にちなんだフォトスポットを設置。更に、足袋を履いた入館者に記念品をプレゼント。

- ・開催日 令和7年7月19日（土）～8月31日（日）
- ・参加者数 フォトスポット利用者585名
記念品プレゼント6名



行田足袋検定

③民間事業者等との連携

(1) 「新作オペラ「平家物語—平清盛—」」への行田足袋の提供 【(公財)埼玉県産業文化センター】

舞台衣装として、(株)イサミコーポレーションより行田足袋を提供したほか、日本遺産のパネル展示を実施し、来場者に行田足袋の周知を図った。

- ・実施日 令和7年10月4日(土)、5日(日)

(2) ゆかたで打ち水大作戦 in 行田忍城 【ハクビ京都きもの学院埼玉校】

ハクビ京都きもの学院との共催により、忍城にて和装文化と日本文化の周知として「ゆかたで打ち水」を実施。参加者にゆかたを着付けし、打ち水終了後には「日本遺産と行田足袋」と題した講演を実施。

- ・開催日 令和7年8月9日(土)
- ・参加者数 40名



オペラ平家物語のポスター

③民間事業者等との連携

(3) 「SLパレオエクスプレス」の特別運行に伴う周知 【秩父鉄道株式会社】

SLパレオエクスプレスが行田市へ延伸に伴い、「SL日本遺産のまち行田号」として特別なヘッドマークを掲げた特別運行が実施された。

また、これに加え車内では日本遺産クイズも実施。

- ・開催日 令和7年8月30日(土)、10月13日(月)、26日(日)

(4) 日本遺産コンサート in 牧禎舎 【株式会社ファイブイズホーム】

日本遺産構成文化財である牧禎舎にて日本フィルハーモニー交響楽団の弦楽四重奏によるコンサートを実施。

- ・開催日 令和7年12月19日(金)
- ・参加者数 72名

(5) 第12回イオン埼玉フェア（越谷イオンレイクタウン）

【イオンリテール株式会社 北関東・新潟カンパニー】

埼玉県とイオンリテール株式会社の連携で行われる「イオン埼玉フェア」にて日本遺産ブースを出展。

- ・開催日：令和7年9月3日(水)～9月7日(日)



SLパレオエクスプレス特別運行



日本遺産コンサートの様子

③民間事業者等との連携

(6) カインズ行田店での日本遺産展示 【カインズ行田店】

2月13日の日本遺産の日に合わせて、市内での日本遺産の周知を図るため、カインズ行田店にてパネル展示を実施。

④古墳フェスティバルの開催

埼玉古墳群の魅力を体感してもらうイベントを実施。日本遺産と埼玉古墳群との関わり、日本遺産の構成文化財を紹介するパネル展示も実施。

- ・開催日 令和7年10月19日(土)
- ・参加者数 約20,000名

⑤日本遺産魅力発信事業

のぼり旗約560セット、ポスター1200枚を市内公共施設、市内商店・企業に配布(現在実施中)。

タペストリーを足袋蔵のある中心市街地に設置。

横断幕は主要幹線道路歩道橋等9箇所へ設置及び予定。

懸垂幕は市役所に設置。



古墳フェスティバルでの展示の様子



ときわ通歩道橋に設置した横断幕

3. シビックプライドの醸成事業

令和7年度実績

①日本遺産巡回展示の開催

小中学校や公民館等で足袋がつくられた歴史やそれに関わる実物資料、各地域に関連の深い日本遺産構成文化財の写真等を展示。

- ・開催場所 市内全小中学校
公民館 4館

②日本遺産出前授業・出前講座の開催

行田の足袋づくりの歴史と現状、綿の栽培の実践や足袋づくりとの関連など、本市の日本遺産を紹介する授業を実施。

- ・実施場所 行田市立埼玉小学校
行田市民大学（忍・行田公民館ホール）
行田市民大学（ものづくり大学）
埼玉県立進修館高等学校（行田學 計2回）

※綿の栽培は、小学校3校、中学校2校で実施



太田小での日本遺産展示の様子



埼玉小での授業の様子

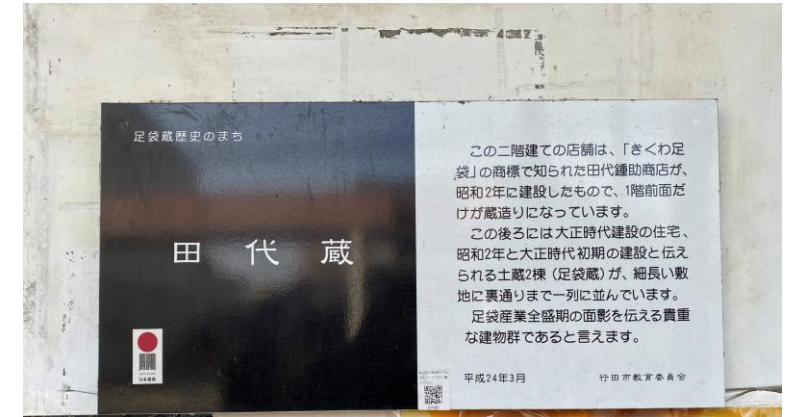
①行田市文化財多言語看板整備事業

外国人観光客のさらなる誘客を目指し、日本遺産ホームページや構成文化財案内板等の観光庁基準による多言語化や、日本遺産構成文化財の「イサミコーポレーション足袋工場」について、AR技術を用いて、かつての工場内部での足袋製造の様子がQRコードで見られるコンテンツを作成。

②ヴェールカフェを活用したビアガーデンの開催

再活用を開始したヴェールカフェで、忍城の堀を活用した自然豊かな水城公園を感じることができるビアガーデンを開催。

- ・開催日 令和7年7月19日(土)、8月10日(日)
9月13日(土)
- ・参加者数 約640名



構成文化財のQRコード



ビアガーデンの様子

① 日本遺産認定継続に向けたキックオフイベント

日本遺産の認定継続に向けてキックオフイベントを開催。当日は認定継続に向けた宣言のほか、宮本伸子氏による「足袋蔵等の活用について」の基調講演を実施。

- ・開催日 令和7年5月21日（水）
- ・開催場所 郷土博物館



キックオフイベントの様子

② 景観計画策定事業

令和8年4月1日に景観計画を告示、10月1日からの運用開始を予定。

景観に影響のある大規模建築物等について届出を求めるほか、日本遺産である足袋蔵が集積する秩父鉄道行田市駅周辺の一部地域を推進地区・重点地区の指定に向けて、より小規模な建築物についても届出を求めるかを含め引き続き検討をする。

③ まちなかウォークブル推進事業

日本遺産である忍城址、足袋蔵などの歴史的資源が点在する秩父鉄道行田市駅を拠点とし、歩道と車道の再配分による歩道の拡張、カラー舗装、キッチンカースペースやサインの設置等を行い、歩きやすい・回遊しやすい歩行空間を創出する。令和7年度は行田市駅前広場の整備、行田市駅前通りの調査・設計を実施。

④ 構成文化財の調査

日本遺産構成文化財の今後の維持管理のため、「イサミコーポレーションスクール工場土蔵」の測量を委託し、足袋蔵の詳細な図面を作成。